



2017年12月号



# 概況

## 最近の県内経済は、緩やかに回復している。

<p><b>個人消費</b></p>	<p><b>個人消費は、緩やかに回復している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は前年同月比0.3%減と5カ月ぶりのマイナス。百貨店が同4.5%減、スーパーが同0.9%増となった。</li> <li>・10月の各種小売業態販売額は、コンビニエンスストア(全店ベース)が前年同月比1.4%増となった。その他の小売業態(全店ベース、増加率)は、家電大型専門店が同5.7%減、ドラッグストアが同5.1%増、ホームセンターが同4.6%減となった。</li> <li>・10月の自動車販売台数は登録車、届出車(軽自動車)合計で前年同月比1.7%増の4,484台と13カ月連続のプラスとなった。登録車が同0.7%増と14カ月連続のプラス、届出車は同3.1%増と7カ月連続のプラスとなった。</li> </ul>
<p><b>住宅投資</b></p>	<p><b>住宅投資は、高水準が継続している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の新設住宅着工戸数は前年同月比8.5%減となった。持家が同6.1%減、貸家が同12.3%減、分譲住宅が同9.1%増となった。なお1~10月の累計では、過去10年で2番目に高い水準となっている。</li> </ul>
<p><b>公共投資</b></p>	<p><b>公共投資は、高い水準にある。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の公共工事請負額は、全体で前年同月比22.7%増の161億7,300万円となり、再びプラスとなった。県が同7.8%減となったものの、国(含む独立行政法人等)が同23.5%増、市町村が同31.7%増となり全体を押し上げた。なお4~10月の累計では、過去10年で4番目に高い請負額となっている。</li> </ul>
<p><b>一次産業</b></p>	<p><b>〔農業〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産省の発表によると、2017年県産米の相対取引価格(2017年10月)は、「つがるロマン」が前年同月比11.3%上昇の1万4,818円、「まっしぐら」が同10.6%上昇の1万4,569円となった。</li> <li>・2017年県産リンゴ販売は、10月の県外出荷量が前年同月比4.4%減、消費地市場価格が同15.7%低下となり、県外市場販売額は同17.8%減となった。</li> </ul> <p><b>〔漁業〕</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の八戸港水揚げは数量が前年同月比2.0%増、金額が同13.2%減となった。</li> </ul>
<p><b>生産活動</b></p>	<p><b>生産活動は、緩やかに回復している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月の鉱工業生産指数(季節調整値)は、前月比0.3%低下の113.0と再び低下した。電子部品・デバイス、業務用機械、食料品などが低下した。なお、高めの水準は継続している。</li> <li>・原指数では、食料品などが低下したものの、業務用機械、パルプ・紙は大幅に上昇し、前年同月比1.1%上昇の112.9と2カ月連続で前年同月を上回った。</li> </ul>
<p><b>設備投資</b></p>	<p><b>設備投資は、足元低下した。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比30.8%減の4万222㎡と、2カ月連続で前年同月を下回った。</li> </ul>
<p><b>雇用動向</b></p>	<p><b>雇用動向は、改善している。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月の有効求人倍率は1.25倍と、前月比0.01ポイント上昇し、1963年の集計開始以来2番目に高い数値となった。</li> </ul>

# 一次産業

## 米

「つがるロマン」、「まっしぐら」とも前年同月比大幅上昇

農林水産省が発表した「2017年産米の相対取引価格(2017年10月)」によると、県産米の相対取引価格(玄米60kg当たり税込み価格)は、「つがるロマン」が前年同月比11.3%上昇の1万4,818円、「まっしぐら」は同10.6%上昇の1万4,569円となった。10月としては過去10年で2番目に高い価格となった。

公表された93銘柄の平均価格は1万5,501円となり、前月比0.2%低下、前年同月比8.3%上昇となった。価格が最も高かったのは、新潟「コシヒカリ(魚沼)」で2万703円であった。前年同月比で見ると、比較可能な90銘柄のうち87銘柄が上昇し、そのうち上昇幅が大きかったのは、福島「天のつぶ」(15.3%)、千葉「ふさこがね」(15.1%)、北海道「ゆめぴりか」(15.0%)などであった。

### ● 2017年産米(東北・北海道主要銘柄)の相対取引価格の推移

(単位:円/玄米60kg税込、%)

産地	品種	17年9月	17年10月	前月比	16年10月	前年同月比
青森	つがるロマン	-	14,818	-	13,312	11.3
	まっしぐら	14,249	14,569	2.2	13,172	10.6
岩手	ひとめぼれ	15,079	15,178	0.7	13,852	9.6
宮城	ひとめぼれ	15,105	15,324	1.4	14,016	9.3
秋田	あきたこまち	15,579	15,659	0.5	14,184	10.4
山形	つや姫	-	18,076	-	18,001	0.4
北海道	ななつぼし	15,874	15,840	-0.2	14,114	12.2
北海道	ゆめぴりか	17,694	17,525	-1.0	15,239	15.0
全銘柄平均価格		15,526	15,501	-0.2	14,307	8.3

(注) 相対取引価格は、出荷業者と卸売業者等との間で数量と価格が決定された主食用の相対取引契約の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米価格)を加重平均。

資料出所: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

## りんご

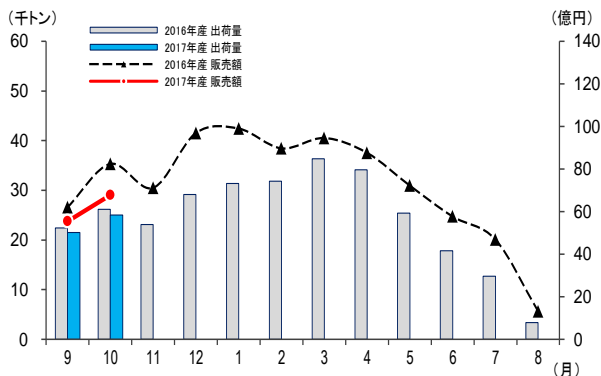
2017年産、県外市場販売額、前年同月比17.8%減

2017年県産りんご販売、10月の県外出荷量は前年同月比4.4%減の2万4,986トンとなった。これは平年の10月出荷量を3.5%下回る水準である。価格面をみると、産地価格は前年同月比11.4%低下、平年比較で3.3%上昇の217円となった。一方、消費地市場価格は全種平均で、前年同月比15.7%低下、平年比較で6.2%上昇の274円/kgとなった。この結果、県外市場販売額は前年同月比17.8%減、平年比較では1.5%増の67億7,500万円となった。

産地価格は、小玉傾向で入荷量が前年及び平年に比べて少なく、価格は、高値だった前年を下回ったものの平年比ではやや高値となった。消費地市場価格は、全体に安値基調のなか、本県産りんごは、入荷量が平年に比べて少なく食味が良好だったことから、価格は前年を下回ったものの平年比では高値となった。

(注) 平年とは、月毎の過去5年間の中庸3カ年平均値である。

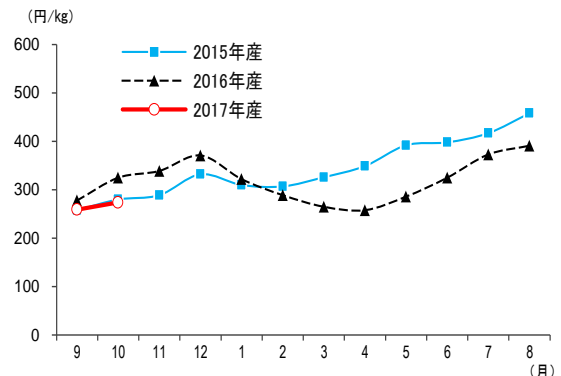
### ● リンゴ販売 県外市場販売動向



資料出所: 県りんご果樹課

(注) 出荷量: 生食用(県外市場、輸出、小口他)  
販売額: 小口、加工向けを除く販売額

### ● 消費地市場価格の推移(全種平均)



資料出所: 県りんご果樹課

# 一次産業

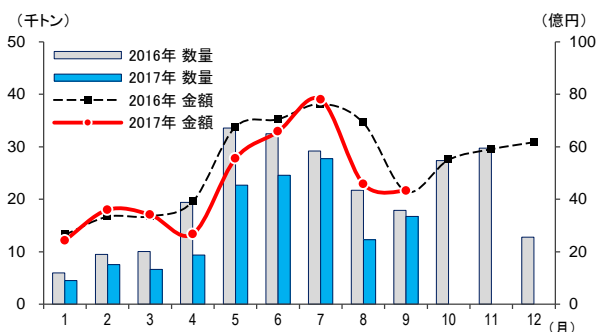
## 海面漁業

数量マイナスとなるも、金額ややプラス

9月の本県海面漁業は、漁獲数量が前年同月比6.7%減の1万6,701トン、漁獲金額が同0.5%増の43億1,974万円となった。前年同月に比べ、ホタテガイ(稚貝/新貝/成貝)、近海生スルメイカ等の漁獲数量が減少したことなどが影響した。

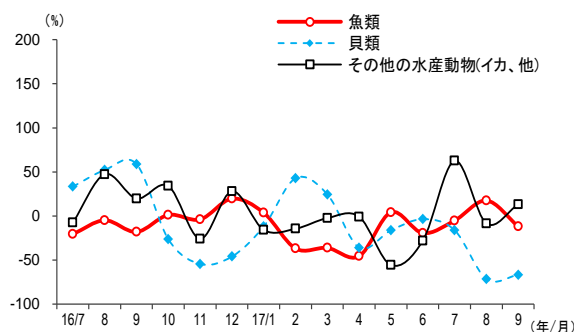
魚種別にみると、「魚類」は、サバ、ブリ、マグロ、タイなどの水揚げが増加したものの、マイワシ、タラ、ヒラメなどが減少した。数量が前年同月比1.0%減の1万1,025トン、金額は、同11.7%減の13億596万円となった。「貝類」は、ホタテガイ(稚貝/新貝/成貝)が大幅に減少し、数量が同66.9%減の773トン、金額は同66.7%減の1億9,442万円となった。「その他の水産動物」は、近海船凍スルメイカが大幅に増加し、数量が同3.0%増の4,454トン、金額は同13.3%増の24億3,674万円となった。

### ● 海面漁業 漁獲数量と金額



資料出所:青森県農林水産部

### ● 魚種別漁獲金額(前年同月比増加率)



資料出所:青森県農林水産部

## 八戸港水揚げ

数量プラスとなるも、金額マイナス

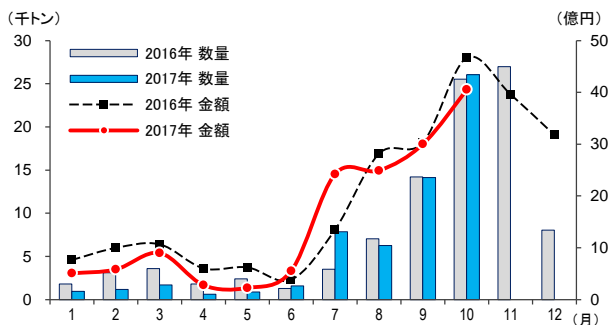
10月の八戸港水揚げは、数量が前年同月比2.0%増の2万6,039トン、金額が同13.2%減の40億5,116万円となり、数量が前年を上回ったものの、単価安から金額は前年を下回った。

イカ釣り漁は、数量が前年同月比46.8%増の2,462トン、金額は同6.0%増の14億2,809万円となった。日本海北部の船凍スルメイカや、近海生スルメイカが漁に恵まれ、数量、金額ともに前年実績を上回った。イカの魚価は前年同月比で10kg当たり2,231円(27.8%)低下の5,801円となった。

大中型まき網漁は、道東沖や三陸沖でのマイワシが豊漁だったものの単価安により、数量が前年同月比1.0%増の2万1,389トン、金額は同26.2%減の15億2,159万円となった。

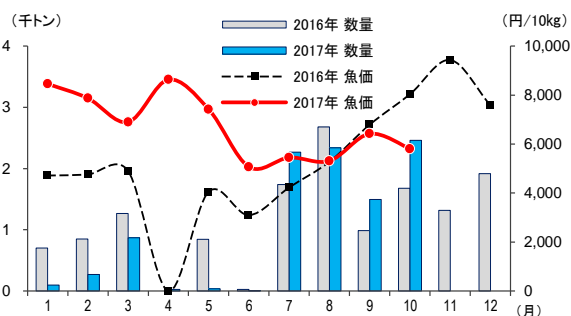
機船底引き網漁は、八戸前沖のスルメイカ漁が不振だったことに加え単価安もあり、数量が前年同月比10.3%減の1,239トン、金額は同35.4%減の6億408万円となった。

### ● 八戸港水揚げ高



資料出所:八戸市水産事務所

### ● イカの水揚げ数量と魚価



資料出所:八戸市水産事務所 (注)2016年4月は水揚げ実績なし

# 二次産業

## 鉱工業生産

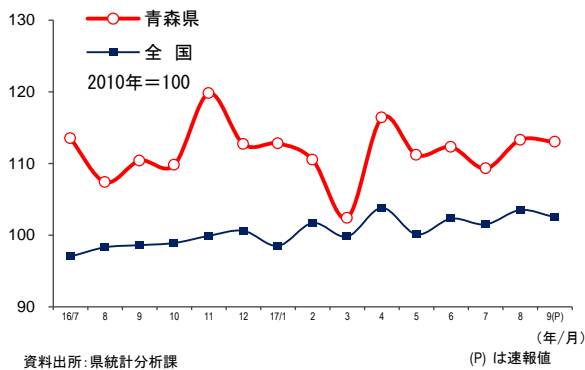
### 再び低下するも、高水準は継続

9月の鉱工業生産指数(季節調整済速報値、2010年=100)は前月比0.3%低下の113.0となり、再び低下した。

主要6業種をみると、電子部品・デバイスが前月比5.8%、食料品が同2.2%、業務用機械が同2.0%、それぞれ低下した。一方、電気機械は同32.4%、鉄鋼は9.7%、パルプ・紙は同0.8%それぞれ上昇した。

原指数で前年同月と比較すると、業務用機械、パルプ・紙が大幅に上昇したほか、電子部品・デバイスも上昇し、前年同月比1.1%上昇の112.9と2カ月連続で前年同月を上回った。

### ● 鉱工業生産指数



### ● 業種別生産指数 (2017年9月)

業 種 ( )内は一万分比ウエート	季節調整済指数		原 指 数	
	2017年 =100	前月比 (%)	2017年 =100	前年同 月比 (%)
鉱 工 業 (10,000.0)	113.0	△ 0.3	112.9	1.1
食 料 品 (2,410.0)	103.3	△ 2.2	102.3	△ 5.6
鉄 鋼 (1,200.9)	95.1	9.7	86.3	△ 7.8
電子部品・デバイス (1,048.2)	171.1	△ 5.8	191.3	2.4
業務用機械 (1,005.1)	117.1	△ 2.0	117.1	22.7
パルプ・紙 (722.3)	93.6	0.8	100.0	13.6
電気機械 (429.2)	109.2	32.4	104.4	△ 2.2

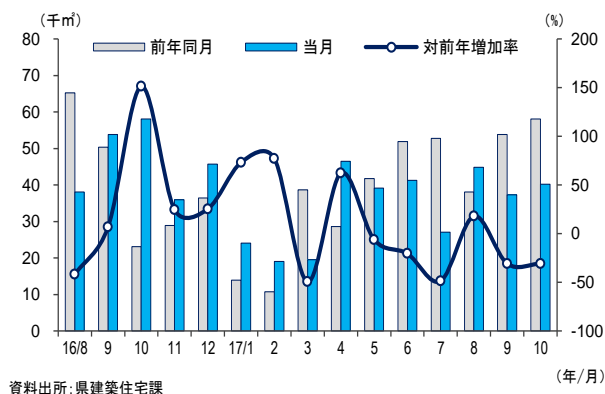
## 設備投資

### 建築物着工床面積 (民間非居住用)、2カ月連続マイナス

10月の建築物着工床面積(民間非居住用)は、前年同月比30.8%減の4万222㎡と、2カ月連続で前年同月を下回った。

用途別着工床面積をみると、その他のサービス業用が同96.0%減の1,068㎡、運輸・通信業用が同71.7%減の145㎡、教育、学習支援業用が同68.1%減の3,750㎡、他に分類されない建築物他が同40.4%減の2,615㎡などとなり全体を押し下げた。一方、医療、福祉用は同38.6倍の1万120㎡、製造業・鉱業・建設業用は同126.7%増の7,423㎡、農林水産業用は同71.7%増の6,478㎡、卸・小売業用は同20.0%増の8,623㎡とそれぞれ増加した。

### ● 建築物着工床面積(民間非居住用)



### ● 用途別着工床面積(民間非居住用)

用途別	2017年10月 (㎡)	2016年10月 (㎡)	前年同月比 (%)
農林水産業用	6,478	3,773	71.7
製造業・鉱業・建設業用	7,423	3,274	126.7
卸・小売業用	8,623	7,184	20.0
運輸・通信業用	145	513	△ 71.7
教育、学習支援業用	3,750	11,767	△ 68.1
医療、福祉用	10,120	262	3762.6
その他のサービス業用	1,068	26,973	△ 96.0
他に分類されない建築物他	2,615	4,384	△ 40.4
合 計	40,222	58,130	△ 30.8

資料出所: 県建築住宅課

# 二次産業

## 公共工事

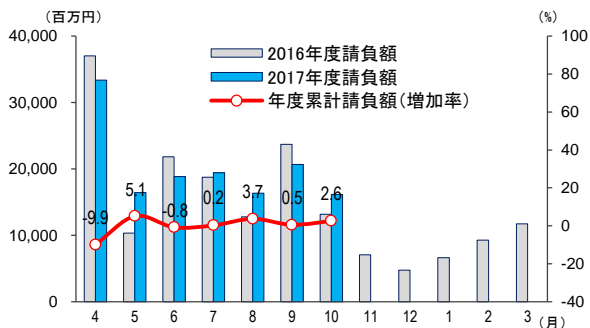
国、市町村で大幅増加、再びプラス

10月の東日本建設業保証(株)の保証取扱いによる公共工事請負額は、前年同月比22.7%増の161億7,300万円となり、再びプラスとなった。

発注主体別の請負額は、国(含む独立行政法人等)が防衛省、農林水産省などで大幅に増加したほか、国土交通省も増加し、同23.5%増の23億3,000万円となった。県は農林水産部で大幅に増加したものの県土整備部で大きく減少し、同7.8%減の48億3,000万円となった。市町村は、三沢市、八戸市などで減少したものの、青森市、今別町、東北町、弘前市、鶴田町などで増加し、同31.7%増の69億5,300万円となった。当月は、県は減少したものの、国、市町村が大幅に増加し全体を押し上げた。

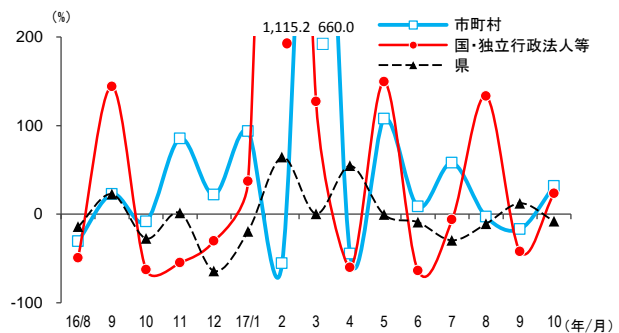
なお4~10月累計では、同2.6%増の1,412億4,400万円となり、過去10年で4番目に高い水準を維持している。

### ● 公共工事請負額



資料出所: 東日本建設業保証(株)

### ● 発注主体別・月別請負額の推移(前年同月増加率)



資料出所: 東日本建設業保証(株)

## 住宅着工

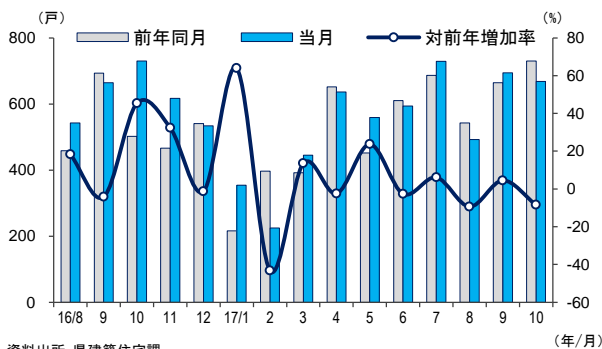
再びマイナスとなるも、高水準継続

10月の県内新設住宅着工戸数は、前年同月比8.5%減の668戸となり、再びマイナスとなった。利用関係別では、持家が同6.1%減、貸家が同12.3%減、分譲住宅が同9.1%増となった。

地域別にみると、全体では、弘前市、十和田市、黒石市、五所川原市、むつ市、郡部で増加した。持家は、青森市、黒石市、郡部などで増加したものの、八戸市、三沢市、平川市などで減少した。貸家は、弘前市、十和田市、平川市、郡部などで増加したものの、大幅に減少した青森市をはじめ、三沢市、つがる市で減少した。分譲住宅は、三沢市、むつ市、平川市などで増加した。

なお、1~10月累計は5,396戸となり、過去10年で2番目に高い水準(平均は4,741戸)となっている。

### ● 新設住宅着工戸数



資料出所: 県建築住宅課

### ● 利用関係別戸数

(単位: 戸, %)

	2017年 10月	2016年 10月	前年 同月比
持家	326	347	△ 6.1
貸家	293	334	△ 12.3
給与住宅	1	5	△ 80.0
分譲住宅	48	44	9.1
総戸数	668	730	△ 8.5

資料出所: 県建築住宅課

# 三次産業

## 百貨店・スーパー販売

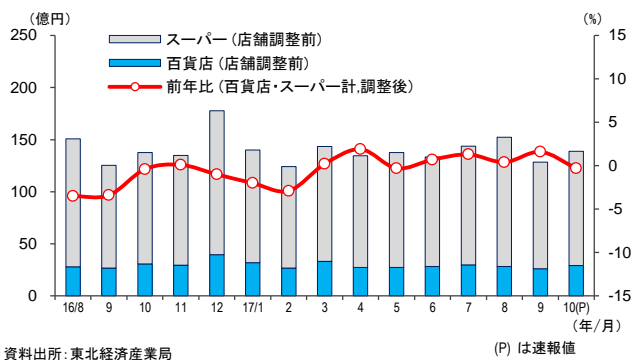
百貨店・スーパーの売上、5カ月ぶりのマイナス

10月の県内百貨店・スーパー販売額(速報ベース、店舗調整後)は、前年同月比0.3%の微減となり5カ月ぶりのマイナスとなった。業態別では百貨店が同4.5%減、スーパーが同0.9%増となった。

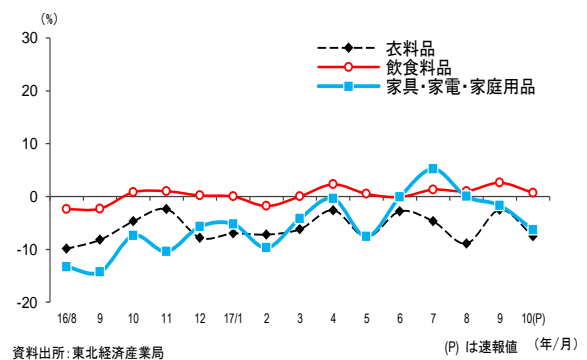
品目別では、その他の商品が同3.0%増、飲食料品が同0.7%増と前年実績を上回った。一方、衣料品は同7.5%減、家具・家電・家庭用品が同6.3%減となった。

その他の商品は医薬品や化粧品などが好調だった。飲食料品は物産展が寄与したほか惣菜等が堅調だった。一方、衣料品は、紳士服、婦人服ともに、コートやスーツなどの重衣料が伸び悩み前年実績を下回った。家具・家電・家庭用品では、家具が新築需要による動きがみられたものの盛り上がりを欠いたほか、家電は寒冷地仕様エアコン以外の暖房機器が鈍い動きとなり、前年実績を下回った。

### 百貨店・スーパー販売動向



### 品目別売上高(店舗調整済、増加率)



## 各種小売業態販売額

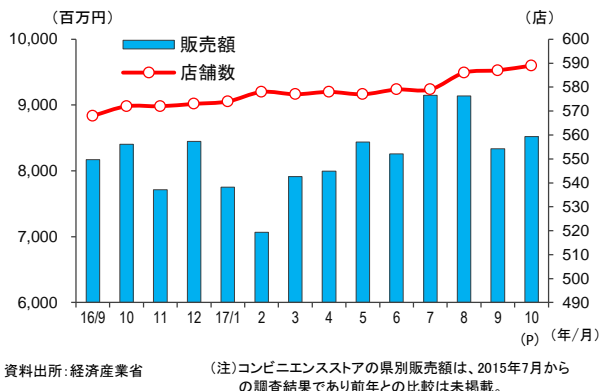
コンビニ、ドラッグストア前年比プラス

10月のコンビニエンスストア販売額(全店ベース)は、前年同月比1.4%増の85億2,000万円となった。店舗数は同3.0%増の589店となった。

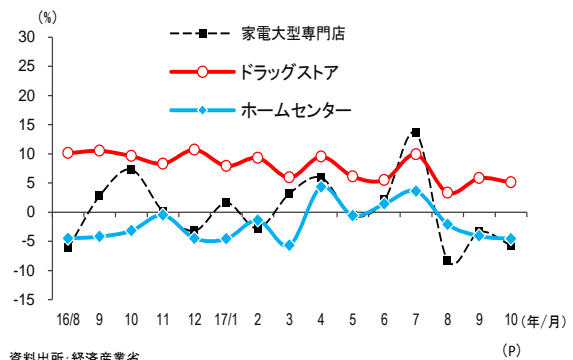
その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)をみると、家電大型専門店が同5.7%減、ドラッグストアが同5.1%増、ホームセンターが同4.6%減となった。家電大型専門店は1~2カ月ごとに増減がみられるが、当月は幾分落ち込み、3カ月連続のマイナスとなった。ドラッグストアは、プラスは維持しているものの増加幅が減少傾向を示している。ホームセンターは、3カ月連続でマイナスとなった。当月は、業種ごとにバラツキがみられた。

(注) 本項はすべて速報値である。

### コンビニエンスストアの販売動向と店舗数



### その他の小売業態販売動向(全店ベース、増加率)



# 三次産業

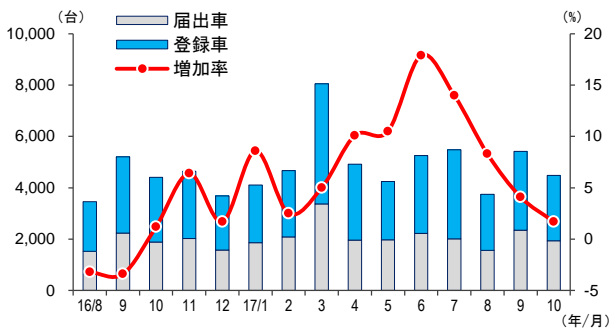
## 自動車販売

販売台数 13 カ月連続のプラス

10月の自動車販売台数は、登録車、届出車(軽自動車)ともに増加し、合計で前年同月比1.7%増の4,484台と13カ月連続のプラスとなった。

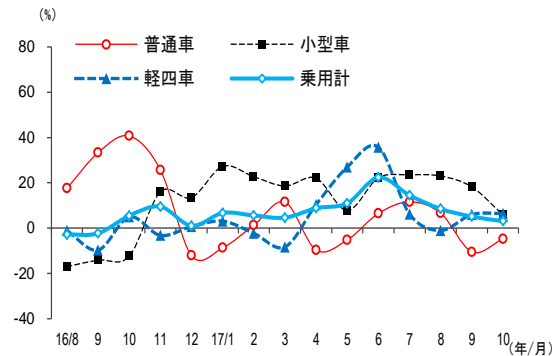
内訳別にみると、登録車は、普通乗用車が同4.8%減、小型乗用車が同5.8%増、貨物車が同8.9%増となり、登録車合計では同0.7%増の2,543台と14カ月連続のプラスとなった。届出車は、乗用車が同6.5%増、貨物車が同5.6%減となり、届出車合計では同3.1%増の1,941台と7カ月連続のプラスとなった。乗用車の登録・届出車合計販売台数は同3.1%増の3,573台と13カ月連続のプラスとなった。

### 自動車販売動向



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

### 乗用車販売動向(増加率)



資料出所：日本自動車販売協会連合会青森県支部

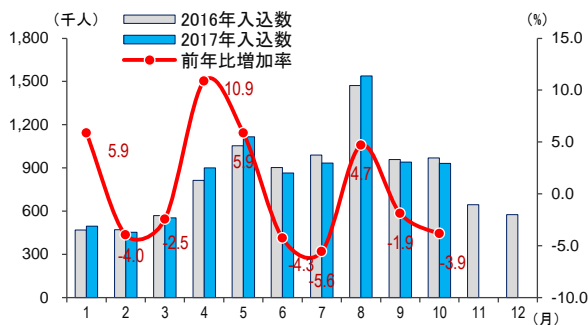
## 観光動向

入込数 2 カ月連続マイナス、宿泊者数 3 カ月ぶりマイナス

10月の県内の観光動向は、県内34施設の入込数が前年同月比3.9%減の93万1,957人と2カ月連続のマイナスとなった。施設別入込数は、アスパムが同32.4%減の6万8,365人、太宰治記念館「斜陽館」が同19.5%減の7,272人、八甲田丸が同18.7%減の7,081人、むつ下北観光物産館が同9.1%減の2万3,344人、浅虫水族館が同3.0%減の2万4,296人、白神山地ビジターセンターが同1.8%減の1万925人とそれぞれ減少した。一方、石ヶ戸休憩所は同8.1%増の7万7,206人、弘前市立観光館は同7.5%増の5万4,761人、八食センターは同1.6%増の22万3,163人とそれぞれ増加した。

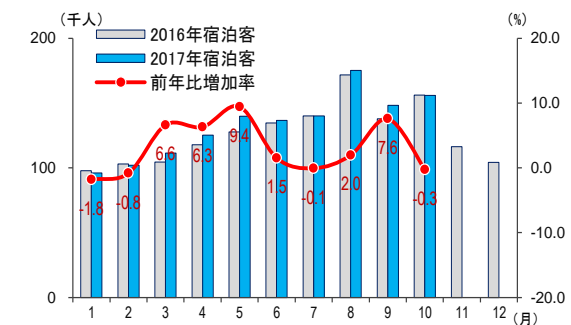
県内53施設(青森市、弘前市、八戸市、むつ市)の宿泊者数は、前年同月比0.3%減の15万5,819人と3カ月ぶりのマイナスとなった。青森市(12施設)が同2.0%減の4万730人、八戸市(18施設)が1人減の4万5,441人となった。一方、むつ市(6施設)は同2.2%増の1万4,632人、弘前市(17施設)は同0.2%増の5万5,016人となった。

### 県内34施設入込数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課

### 県内53施設宿泊者数



資料出所：県観光国際戦略局観光企画課



# 物価・雇用・金融

## 消費者物価指数

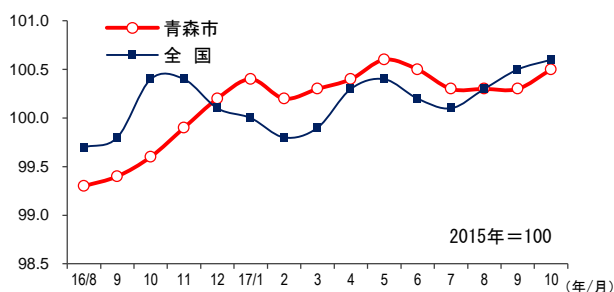
前月比上昇、家具・家事用品、交通・通信などが寄与

10月の青森市の消費者物価指数(2015年=100)は前月比0.2%上昇、前年同月比0.9%上昇の100.5となった。主要費目別に前月と比べると、「家具・家事用品」が家庭用耐久財などの上昇により1.8%、「交通・通信」がガソリンなどの上昇により1.1%、「光熱・水道」が灯油などの上昇により0.7%、それぞれ上昇した。一方、「食料」が生鮮野菜などの下落により0.4%、「教養娯楽」が教養娯楽用耐久財などの下落により0.4%、「保健医療」が保健医療用品・器具の下落により0.2%それぞれ下落した。

前年同月比では、「光熱・水道」が灯油などの上昇により8.5%、「家具・家事用品」が家庭用耐久財などの上昇により2.3%、「教養娯楽」が書籍・他の印刷物などの上昇により1.1%、それぞれ上昇した。

なお「生鮮食品を除く総合指数」は101.1となり、前月比では0.4%上昇、前年同月比では1.6%上昇した。

### 消費者物価指数



資料出所: 県統計分析課

### 費目別指数の動き (2017年10月)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.5	0.2	0.9
食料	101.6	△ 0.4	△ 1.0
住居	99.9	0.0	△ 0.4
光熱・水道	97.4	0.7	8.5
家具・家事用品	100.9	1.8	2.3
被服及び履物	101.2	0.2	△ 1.4
保健医療	102.1	△ 0.2	1.0
交通・通信	97.9	1.1	0.8
教育	102.5	0.0	0.5
教養娯楽	103.4	△ 0.4	1.1
諸雑費	101.9	0.1	1.0

資料出所: 県統計分析課

## 雇用動向

有効求人倍率 1.25 倍、先月に比べやや上昇

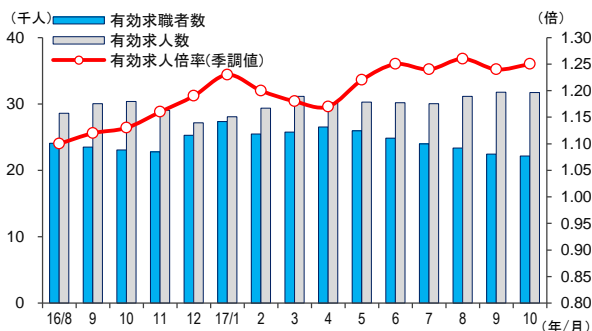
10月の求人・求職動向は、有効求人数が前年同月比4.5%増の3万1,730人、有効求職者数は同4.0%減の2万2,159人となった。有効求人倍率は、前月比0.01ポイント上昇の1.25倍となった。

新規求人の動きをみると、常用求人数が前年同月比1.6%増、臨時・季節求人数が同21.4%減、パート求人数が同1.4%減となり、全数では同1.8%減の1万1,434人と30カ月ぶりに減少した。

主要産業別の新規求人動向を前年同月比でみると、製造業、運輸業、郵便業、宿泊業、飲食サービス業、医療、福祉、サービス業などで減少した一方、建設業、情報通信業、卸売・小売業、不動産業、物品賃貸業、複合サービス事業などで増加した。

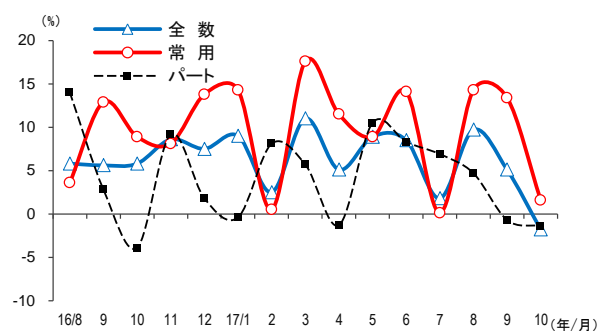
県内の雇用状況は、当月の有効求人倍率が、先月から0.01ポイント上昇し、1963年の集計開始以来、2番目に高い数値となり、また1倍台は22カ月連続となるなど高水準が継続している。

### 有効求人倍率



資料出所: 青森労働局

### 新規求人数の増加率



資料出所: 青森労働局

# 物価・雇用・金融

## 企業倒産

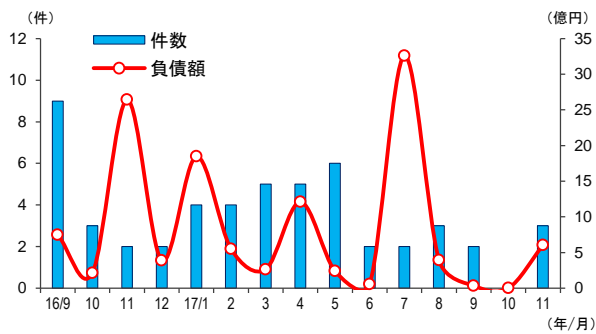
負債総額、前年比大幅減、小康状態続く

11月の県内企業倒産は、件数が前年同月比1件増の3件、負債総額は同20億4,100万円減の6億200万円となった。前月は倒産件数がゼロであったが、当月は3件、6億200万円の発生となった。

県内の企業倒産は、件数が、前年と比べ1件増加したものの引き続き1桁台をキープ、負債総額は、10億円超の大型倒産が発生した前年と比べ大幅減少となった。ただし先月比では、中規模な倒産の発生により大幅増加となった。地区別では、八戸市、弘前市、黒石市で各1件の発生となった。

単月での従業員被害者数は11人となり、1月からの累計では352人となった。

### ● 企業倒産状況



資料出所: 東京商工リサーチ

(注) 負債総額1千万円以上

### ● 業種別・原因別件数 (2017年11月)

業種	件数	原因	件数
一次産業・鉱業		放漫経営	
建設業		過小資本	
製造業	1	他社倒産の余波	
卸売業		既往のシワ寄せ	1
小売業	1	信用低下	
金融・保険業		販売不振	2
不動産業		売掛金回収難	
運輸業		在庫状況悪化	
情報通信業		設備投資過大	
サービス業 他	1	その他	
合計	3	合計	3

資料出所: 東京商工リサーチ (負債総額1千万円以上)

## 金融動向

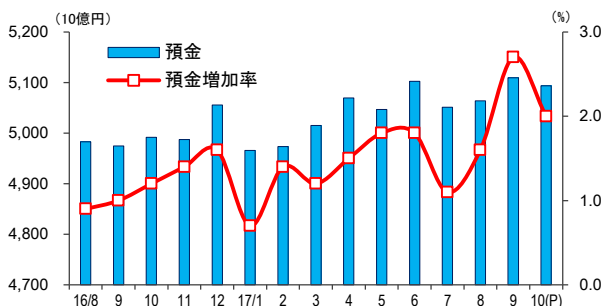
預金、貸出金とも54カ月連続のプラス

10月末の県内金融機関(銀行・信用金庫・信用組合)の預金・貸出金残高(速報値)は、実質預金が前年同月比2.0%増の5兆934億円、貸出金は同4.6%増の3兆361億円とそれぞれ増加した。

預金は個人預金、法人預金が増加し前年を上回った。預金全体のプラス幅は前月比0.7ポイント低下したものの、54カ月連続のプラスとなった。

一方、貸出金は住宅ローン、法人、地公体向けが、いずれも増加し前年を上回った。貸出金全体のプラス幅は前月比横ばいとなり、54カ月連続のプラスとなった。

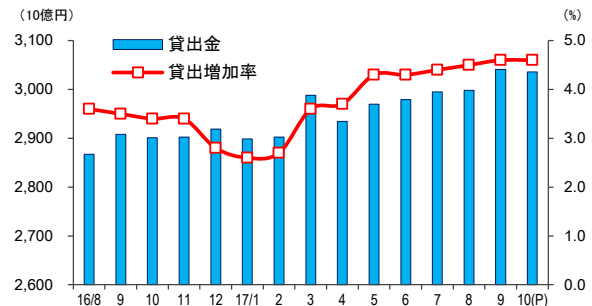
### ● 預金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

### ● 貸出金の推移



資料出所: 日本銀行青森支店

(P) は速報値

# 国内景気

## 概況

—国内景気は、緩やかな回復基調が続いている—  
個人消費は、緩やかに持ち直している。設備投資は持ち直している。住宅建設は横ばいとなっている。公共投資は堅調に推移している。輸出は持ち直している。生産は持ち直している。企業収益は改善している。企業の業況判断は、改善している。雇用情勢は改善している。消費者物価は横ばいとなっている。

## 百貨店・スーパーの動向(既存店ベース)

—前年同月比 0.7%減、3 カ月ぶりのマイナス—  
10月の百貨店・スーパー販売額は前年同月比 0.7%減と 3 カ月ぶりのマイナスとなった。業態別にみると、百貨店が同 0.5%減、スーパーが同 0.9%減となった。商品別にみると、衣料品が同 2.5%減、飲食物品が同 1.0%減、その他商品が同 1.9%増となった。

## 住宅建設

—前年同月比 4.8%減、4 カ月連続のマイナス—  
10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比 4.8%減の 8 万 3,057 戸と 4 カ月連続のマイナスとなった。利用関係別では、持家が同 4.8%減と 5 カ月連続の減少、貸家が同 4.8%減と 5 カ月連続の減少、分譲住宅が同 4.8%減と 2 カ月連続の減少となった。

## 企業倒産

—倒産件数増、負債総額減少—  
10月の企業倒産は、件数が前年同月比 7.3%増の 733 件、負債総額は同 13.8%減の 958 億 7,900 万円となった。倒産件数は、10月としては 6 年 3 カ月ぶりに 2 カ月連続で前年を上回った。負債総額は、再び前年を下回り、8月に次ぎ今年 2 番目に少ない金額だった。負債額 1 億円未満が 557 件と全体の 75.9%を占め、引き続き小規模企業の倒産を中心に推移した。

## 為替動向

—11 月末終値 112 円 28 銭—  
11月の東京外国為替市場は前月末から反落、113.89 円でスタート。上旬は、米長期金利上昇や好調な米雇用統計などを受け、一時 114 円台まで円安が進行。中旬は一転、日米金利差縮小や欧州政治への警戒感から円高が進行。下旬も、米政策金利の上昇ペースが不透明感を増し円を買う動きが優勢となり、円高が進行した。月末終値は、112 円 28 銭。

## 鉱工業生産指数

—前月比 0.5%上昇の 103.0—  
10月の鉱工業生産指数は前月比 0.5%上昇の 103.0(季節調整値)となった。電気機械、輸送機械、はん用・生産用・業務用機械などが上昇した。一方、化学(除、医薬品)、石油・石炭製品、電子部品・デバイスなどが低下した。11月は、はん用・生産用・業務用機械、電子部品・デバイス、輸送機械などの上昇により前月比 2.8%上昇を予測している。

## 新車販売(除く軽自動車)

—前年同月比 4.7%減、3 カ月ぶりのマイナス—  
10月の国内新車販売は前年同月比 4.7%減の 23 万 1,563 台と 3 カ月ぶりのマイナスとなった。乗用車が同 4.4%減、貨物車が同 5.8%減となった。乗用車は普通乗用車が同 3.4%減と 4 カ月連続のマイナス、小型乗用車は同 5.6%減と 3 カ月ぶりのマイナスとなった。

## 完全失業率

—前月比横ばいの 2.8%—  
10月の完全失業率は、前月比横ばいの 2.8%となった。完全失業者数は前年同月比 14 万人減の 181 万人となり、89 カ月連続で減少した。求職理由別にみると、勤め先や事業の都合が前年同月比 1 万人減の 33 万人、自己都合が同 6 万人減の 77 万人などとなった。

## 消費者物価指数

—前年同月比 0.2%上昇の 100.6—  
10月の全国消費者物価指数は前年同月比 0.2%上昇、前月比(季節調整値)横ばいの 100.6 となった。前年同月に比べ、電気代、ガス代、自動車等関係費(ガソリンなど)、保健医療サービス(診療代など)、他の光熱(灯油)、生鮮魚介(さんま)、酒類(ビール)などが上昇した。生鮮食品を除く総合指数は、前年同月比 0.8%上昇、前月比(季節調整値) 0.2%上昇の 100.6 となった。

## 国際収支

—経常収支、40 カ月連続で黒字—  
10月の経常収支額は、前年同月比 6,298 億円増(40.7%増)の 2 兆 1,764 億円と 40 カ月連続で黒字が継続している。黒字幅の拡大は、第一次所得収支が黒字幅を拡大したこと等に起因する。経常収支の内訳は、貿易・サービス収支が 3,967 億円の黒字、第一次所得収支が 1 兆 9,405 億円の黒字、第二次所得収支が 1,608 億円の赤字となった。

# 県内・国内トピックス 11月

## 県内

### 2日 湯治温泉宿ランキング、酸ヶ湯温泉旅館トップ

旅行予約サービスの楽天トラベルが発表した2017年の「湯治体験が人気の温泉宿ランキング」によると、酸ヶ湯温泉旅館が全国トップとなった。2位は群馬県の四万温泉積善館本館、3位は岩手県の大沢温泉自炊部などの順。

### 2日 がん死亡率、本県13年連続最悪

国立がん研究センターによると、2016年のがん年齢調整死亡率(10万人当たりのがん死亡者数、年齢調整値)は、本県が13年連続で全国最高となった。男女とも全国最高で、男性は13年連続、女性は5年連続となっている。

### 5日 三内丸山遺跡でギネス世界記録誕生

県によると、「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録への機運を高めることを目的に三内丸山遺跡で開催された「世界最大の考古学授業」で、有効参加者283人のギネス世界記録が認定された。

### 7日 北海道新幹線2016年度収支、54億円の赤字

JR北海道によると、2016年度の北海道新幹線(新青森—新函館北斗)の収支状況は、営業収益が116億5,300万円に対し営業費用が170億5,900万円で、収支は54億600万円の赤字となった。また、100円を稼ぐために要する経費を示す営業係数は146円となった。

### 8日 プロ野球1軍戦、来年も県内開催決定

日本野球機構の発表によると、2018年7月3日にパ・リーグ1軍公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス—福岡ソフトバンクホークス」が弘前市のはるか夢球場で開催されることが決定した。プロ野球1軍公式戦の県内開催は2年連続となる。

### 15日 2017年、本県大卒初任給19万2,200円

厚生労働省によると、本県の2017年大卒初任給は19万2,200円、高卒初任給は14万6,900円と、いずれも全国平均を下回った。

## 国内

### 9日 街角景気、2カ月連続の改善

内閣府が発表した10月の景気ウォッチャー調査によると、景気の現況を示す現状判断指数(季節調整値)は前月比0.9ポイント上昇の52.2と、2カ月連続で改善した。

### 15日 2017年7-9月期GDP、前期比0.3%増

内閣府が発表した2017年7-9月期の国内総生産(GDP、速報値)は、物価変動の影響を除いた実質で前期比0.3%増、年率換算で1.4%増と、7四半期連続のプラス成長となった。内外需別では、内需が0.2%マイナスに、外需が0.5%プラスにそれぞれ寄与した。

### 15日 10月の訪日外国人旅行者数、過去最高を記録

観光庁によると、10月の訪日外国人旅行者数(推計値)は前年同月比21.5%増の259万5,200人と過去最高を記録した。この結果1月から10月の累計では前年同期比18.3%増の2,379万1,500人となった。また、年間で過去最高を記録した昨年の2,404万人を、11月4日時点で更新し、年間では2,800万人に達するとの見通しを示した。

### 15日 2017年、大卒初任給20万6,100円

厚生労働省によると、2017年の大卒初任給は前年比1.3%増の20万6,100円、高卒初任給は同0.5%増の16万2,100円となった。男女別では、大卒男性が20万7,800円、女性が20万4,100円、高卒男性が16万4,200円、女性が15万8,400円となった。

### 17日 10月1日現在大卒就職内定率、過去最高

文部科学省の発表によると、来春卒業予定の大学生の就職内定率(10月1日現在)は、前年同期比4.0ポイント増の75.2%となり、1996年の調査開始以降、同時期としては過去最高を記録した。

# 全国の主要経済指標

年次及び月	日銀券 発行高 (平均残高・億 円)	国内銀行勘定(月末)		国内銀行貸 出約定平均 金利 (年利%)	景気動向指 数(一致) 2010年=100	国内企業 物価指数 2015年=100	消費者 物価指数 2015年=100	鉱工業 生産指数 2010年=100	機械受注 (季調済) (億円)	公共工事 請負額 (億円)
		実質預金 (10億円)	貸出残高 (10億円)							
2012(H24)	809,455	613,690	433,823	1.364	-	98.0	96.2	97.8	88,134	128,456
2013(H25)	835,998	640,633	449,134	1.258	-	99.2	96.6	97.0	93,232	150,536
2014(H26)	866,132	660,844	461,147	1.180	-	102.4	99.2	99.0	96,920	165,257
2015(H27)	908,485	679,106	475,937	1.110	-	100.0	100.0	97.8	100,891	149,257
2016(H28)	961,251	734,342	491,573	0.998	-	96.5	99.9	97.7	102,600	154,200
2016(H28) 8	962,598	713,266	478,897	1.026	111.6	96.0	99.7	98.3	8,406	13,674
9	961,605	718,064	483,362	1.016	111.9	96.1	99.8	98.6	8,432	21,528
10	964,126	720,207	482,275	1.014	112.9	96.1	100.4	98.9	8,721	11,628
11	968,657	728,632	485,636	1.009	114.5	96.4	100.4	99.9	8,478	9,172
12	998,207	734,342	491,573	0.998	114.5	97.1	100.1	100.6	8,660	13,527
2017(H29) 1	1,000,204	734,157	490,302	0.996	113.3	97.7	100.0	98.5	8,379	7,837
2	987,652	735,389	490,872	0.992	115.0	98.0	99.8	101.7	8,505	11,608
3	994,636	748,497	496,374	0.982	114.4	98.2	99.9	99.8	8,623	24,568
4	996,652	753,144	493,836	0.982	116.7	98.4	100.3	103.8	8,359	8,202
5	999,953	753,164	493,993	0.976	115.7	98.4	100.4	100.1	8,055	10,000
6	995,829	750,914	495,736	0.969	116.8	98.5	100.2	102.3	7,900	14,660
7	1,003,958	753,838	496,157	0.965	115.8	98.8	100.1	101.5	8,533	13,713
8	1,007,793	754,563	495,975	0.962	117.6	98.8	100.3	103.5	8,824	13,655
9	1,005,588			0.955	116.2	99.1	100.5	102.5	8,105	15,155
10	1,009,036			0.955	P 116.5	P 99.4	100.6	P 103.0	8,509	14,202
前月比%	0.3	0.1	-0.0	0.000* イト	0.3ポイント	0.3	0.0	0.5	5.0	-6.3
前年同月比%	4.7	5.8	3.6	-0.059* イト	-	3.4	0.2	5.9	2.3	22.1
資料出所	日本銀行				内閣府	日本銀行	総務省	経済産業省	内閣府	国土交通省

※鉱工業生産指数の前年同月比及び年次は原指数による

※消費者物価指数の前月比は季節調整値による

※機械受注は、船舶・電力を除く民需、前年同月比は原系列による

年次及び月	新設住宅 着工戸数 (戸)	新車登録 届出台数 (乗用車) (千台)	百貨店・スー パー販売額 (億円)	企業倒産		完全 失業率 (季調済) (%)	国際収支 (経常) (億円)	東京 外為相場 (月平均) (円/US\$)	日経平均 株価 (東証1部 225銘柄) (円)	日経 商品指数 (月末42種) (70年=100)
				件数 (件)	負債総額 (億円)					
2012(H24)	882,797	4,572	195,916	12,124	38,346	4.3	47,640	79.79	10,395.18	169.679
2013(H25)	980,025	4,562	197,774	10,855	27,823	4.0	44,566	97.71	16,291.31	188.334
2014(H26)	892,261	4,699	201,973	9,731	18,741	3.6	39,215	105.79	17,450.77	183.036
2015(H27)	909,299	4,216	200,491	8,812	21,124	3.4	162,351	121.09	19,033.71	160.852
2016(H28)	967,705	4,146	195,948	8,446	20,061	3.1	203,421	108.77	19,114.37	168.833
2016(H28) 8	82,242	279	15,545	726	1,260	3.1	19,704	101.27	16,887.40	156.636
9	85,622	397	14,710	649	851	3.0	18,643	102.04	16,449.84	156.713
10	87,707	315	15,970	683	1,112	3.0	15,466	103.82	17,425.02	158.586
11	85,051	342	16,479	693	5,945	3.1	14,267	108.18	18,308.48	164.413
12	78,406	333	20,676	710	1,717	3.1	11,143	115.95	19,114.37	168.833
2017(H29) 1	76,491	343	16,743	605	1,285	3.0	952	114.73	19,041.34	171.743
2	70,912	413	14,493	688	1,158	2.8	28,940	113.06	19,118.99	172.284
3	75,887	584	16,312	786	1,668	2.8	29,805	113.01	18,909.26	173.696
4	83,979	297	15,583	680	1,041	2.8	19,557	110.06	19,196.74	171.609
5	78,481	312	15,881	802	1,069	3.1	16,776	112.21	19,650.57	172.234
6	87,456	396	15,694	706	15,883	2.8	9,288	110.91	20,033.43	172.118
7	83,234	357	17,179	714	1,099	2.8	P 23,200	112.44	19,925.18	174.141
8	80,562	291	15,655	639	924	2.8	P 23,804	109.91	19,646.24	176.718
9	83,128	418	14,968	679	1,158	2.8	P 22,712	110.68	20,356.28	179.875
10	83,057	311	P 15,889	733	959	2.8	P 21,764	112.96	22,011.61	180.695
前月比%	-5.3	-25.6	-0.1	8.0	-17.2	0.0* イト	-	2.3	8.1	0.5
前年同月比%	-4.8	-1.2	-0.7	7.3	-13.8	-0.2* イト	40.7	9.1	26.3	13.9
資料出所	国土交通省	自販協連合会	経済産業省	東京商工リサーチ	総務省	財務省	日本銀行	日経新聞社		

※百貨店・スーパー販売額(2015.7大型小売店販売額を名称変更)の前月比は季節調整済増減率、前年同月比は既存店ベース増減率

※企業倒産は負債額1千万円以上

※日経平均株価は年末、月末の終値ベース

# 青森県の主要経済指標・各種統計 1

年次及び月	人口 (推計)		日銀券発行(-) 還収 超額(億円)	県内金融機関		鉱工業 生産指数 (季調済) 2010年=100	公共工事請負額		企業倒産	
	(人)	社会動態(人) (転入-転出)		実質預金 (億円)	貸出残高 (億円)		(百万円)	うち県分 (百万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2012 (H24)	1,361,053	-5,311	1,287	47,633	26,780	104.7	208,618	55,074	57	52,781
2013 (H25)	1,347,650	-5,924	1,762	48,252	27,298	106.4	197,238	60,716	53	11,199
2014 (H26)	1,333,729	-6,269	1,957	49,114	27,890	106.9	169,394	58,023	66	9,485
2015 (H27)	1,319,297	-6,205	2,749	49,540	28,849	107.8	151,727	58,460	52	6,894
2016 (H28)	1,305,721	-5,853	2,929	50,154	29,878	110.3	177,083	65,673	49	12,227
2016 (H28) 8	1,294,831	19	214	49,828	28,672	107.4	12,774	5,252	2	30
9	1,294,209	66	198	49,747	29,081	110.4	23,679	10,917	9	748
10	1,293,681	126	328	49,914	29,015	109.8	13,180	5,240	3	213
11	1,293,130	-116	287	49,871	29,026	119.8	7,077	2,421	2	2,643
12	1,292,212	-187	689	50,553	29,188	112.7	4,763	960	2	389
2017 (H29) 1	1,291,206	-83	-159	49,660	28,985	112.8	6,617	1,555	4	1,847
2	1,290,008	-360	201	49,733	29,025	110.5	9,291	2,262	4	551
3	1,288,791	-5,346	220	50,154	29,878	102.4	11,732	3,709	5	264
4	1,282,545	394	337	50,692	29,346	116.4	33,370	19,622	5	1,209
5	1,282,136	77	92	50,470	29,698	111.2	16,443	3,824	6	239
6	1,281,461	-136	349	51,021	29,790	112.3	18,847	7,687	2	55
7	1,280,651	-150	221	50,510	29,952	109.3	19,439	5,894	2	3,260
8	1,279,829	-90	236	50,638	29,979	113.3	16,318	4,680	3	392
9	1,278,997	149	163	51,096	30,410	P 113.0	20,651	12,264	2	35
10	1,278,581	158	448	P 50,934	P 30,361		16,173	4,830	0	0
11	1,277,949		198						3	602
前月比 %	-0.0	-	-	-0.3	-0.2	-0.3	-21.7	-60.6	-	-
前年同月比%	-1.2	-	-	2.0	4.6	1.1	22.7	-7.8	50.0	-77.2
資料出所	県統計分析課		日本銀行青森支店		県統計分析課	東日本建設業保証	東京商工リサーチ			

※人口の年は1月1日、月は各1日現在、社会動態は年・月中の計数

※日銀券の年次計数は年度累計

※実質預金は手形・小切手を除く、預貸金の年次計数は年度末残高

※鉱工業生産指数の年次計数および前年同月比は原指数による

※公共工事請負額の年次の欄は年度計数

※企業倒産は負債額1千万円以上

年次及び月	新車 登録台数 (台)	乗用車登 録届出 台数(台)	新設住宅着工戸数			新設住宅 床面積 (千平米)	消費者 物価指数 2015年=100 (青森市)	勤労者世帯 家計消費 支出額 (青森市)(円)	毎月勤労統計調査	
			総戸数 (戸)	うち持家 (戸)	うち貸家 (戸)				現金給与総額 (円)	総実労働時間 (時間)
2012 (H24)	33,496	49,397	5,578	3,286	1,844	582	96.2	274,133	253,142	155.0
2013 (H25)	31,442	49,982	6,461	4,193	1,958	632	96.5	267,928	257,302	154.4
2014 (H26)	31,736	52,046	5,469	3,387	1,721	575	99.8	259,815	254,237	155.1
2015 (H27)	30,680	44,577	5,686	3,336	1,820	586	100.0	255,240	251,066	154.6
2016 (H28)	31,217	43,396	6,494	3,597	2,256	651	99.5	265,004	252,236	152.5
2016 (H28) 8	1,939	2,690	543	363	155	58	99.3	260,830	229,871	148.4
9	2,972	4,146	664	376	241	66	99.4	237,847	215,324	151.5
10	2,525	3,465	730	347	334	70	99.6	282,665	216,521	154.1
11	2,620	3,549	617	333	225	60	99.9	320,791	230,649	155.2
12	2,119	2,773	534	247	203	49	100.2	319,561	431,088	155.5
2017 (H29) 1	2,241	3,294	354	124	208	29	100.4	291,220	227,354	144.2
2	2,591	3,818	225	133	62	22	100.2	275,709	220,920	151.7
3	4,683	6,332	445	255	147	44	100.3	314,577	230,618	157.0
4	2,952	3,958	636	413	156	71	100.4	296,396	227,689	157.5
5	2,267	3,390	559	363	163	59	100.6	234,487	224,120	149.4
6	3,031	4,251	594	387	178	65	100.5	269,218	359,373	159.9
7	3,468	4,406	729	403	283	72	100.3	241,612	275,063	159.4
8	2,184	2,918	492	321	134	53	100.3	244,457	245,172	152.0
9	3,079	4,356	694	389	269	68	100.3	231,760	230,367	157.6
10	2,543	3,573	668	326	293	62	100.5	245,979		
前月比 %	-17.4	-18.0	-3.7	-16.2	8.9	-9.1	0.2	6.1	-6.0	3.7
前年同月比%	0.7	3.1	-8.5	-6.1	-12.3	-10.8	0.9	-13.0	7.0	4.0
資料出所	自販協連合会青森県支部		県建築住宅課			県統計分析課	総務省	県統計分析課		

※毎月勤労統計調査は事業所規模5人以上を対象

## 青森県の主要経済指標・各種統計 2

年次及び月	百貨店・スーパー 販売額 (百万円)	コンビニエンスストア販売額 (百万円)	家電大型専門 店販売額 (百万円)	ドラッグ ストア 販売額 (百万円)	ホームセ ンター販 売額 (百万円)	りんご			漁業 (八戸港水揚高)	
						出荷量 (トン)	市場価格 (円/Kg)	産地価格 (円/Kg)	数量 (トン)	金額 (百万円)
2012 (H24)	181,246	-	-	-	-	274,892	263	164	112,395	18,670
2013 (H25)	179,920	-	-	-	-	255,696	317	191	97,591	19,672
2014 (H26)	177,668	-	28,532	40,073	54,090	296,117	319	180	120,530	22,969
2015 (H27)	172,465	-	26,335	43,523	54,193	298,255	329	209	113,359	19,699
2016 (H28)	168,443	94,851	26,540	47,970	51,990	294,359	391	190	99,312	23,436
2016 (H28) 8	15,068	9,040	2,358	4,422	4,664	2,639	458	-	7,034	2,815
9	12,546	8,171	1,995	3,962	3,951	22,433	278	190	14,199	3,030
10	13,758	8,406	2,136	4,120	4,351	26,137	325	245	25,531	4,668
11	13,499	7,716	2,028	3,990	4,501	23,073	339	251	26,979	3,961
12	17,777	8,446	2,821	4,360	5,180	29,154	371	199	8,037	3,175
2017 (H29) 1	13,996	7,751	2,658	4,131	3,542	31,405	322	180	949	505
2	12,425	7,069	1,815	3,823	2,853	31,814	289	159	1,181	581
3	14,352	7,912	2,644	3,905	3,630	36,359	265	136	1,689	900
4	13,445	7,996	1,936	4,238	5,066	34,152	258	190	601	278
5	13,761	8,438	1,904	4,215	5,162	25,368	286	-	880	224
6	13,345	8,259	1,917	4,316	4,308	17,792	325	-	1,598	554
7	14,387	9,146	2,879	4,589	4,756	12,665	373	-	7,857	2,423
8	15,245	9,139	2,162	4,570	4,567	3,334	391	-	6,266	2,490
9	12,837	8,336	1,928	4,191	3,789	21,473	259	178	14,135	2,999
10	P 13,879	P 8,520	P 2,014	P 4,332	P 4,152	24,986	274	217	26,039	4,051
前月比 %	-	2.2	4.5	3.4	9.6	16.4	5.8	21.9	84.2	35.1
前年同月比%	-0.3	1.4	-5.7	5.1	-4.6	-4.4	-15.7	-11.4	2.0	-13.2
資料出所	経済産業省				県りんご果樹課			八戸市水産事務所		

※百貨店・スーパー販売額の前年同月比は既存店ベース増減率

※りんご年次欄はりんご年度の計数

年次及び月	有効求人 倍率(倍)	新規求人 倍率(倍)	雇用保険		貿易 (青森港)		貿易 (八戸港)		青森県景気 ウォッチャー調査 (現状判断 DI)	おおぎん BSI	
			受給人員 (人)	受給金額 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)	輸出 (百万円)	輸入 (百万円)			
2012 (H24)	0.64	0.96	-	13,070	6,785	29,059	107,146	122,288	-	-	
2013 (H25)	0.78	1.14	-	12,291	7,651	35,866	122,070	141,664	-	-	
2014 (H26)	0.81	1.16	-	11,408	7,733	34,824	132,609	177,830	-	-	
2015 (H27)	0.95	1.34	-	10,654	5,913	25,041	129,394	192,285	-	-	
2016 (H28)	1.14	1.60	-	9,586	4,577	14,834	125,646	147,564	-	-	
2016 (H28) 8	1.10	1.49	7,441	854	475	1,475	10,052	9,881	-	-4.8	
9	1.12	1.51	6,143	696	386	1,042	5,155	11,444	-		
10	1.13	1.56	5,554	587	291	513	13,673	27,315	43.2	10.8	
11	1.16	1.63	5,463	616	442	1,591	8,293	11,189	-		
12	1.19	1.65	5,878	657	367	2,265	12,430	12,878	-	-8.6	
2017 (H29) 1	1.23	1.70	9,561	1,472	424	2,665	12,016	12,750	47.3		
2	1.20	1.55	6,856	856	691	3,233	9,577	8,038	-	0.8	
3	1.18	1.63	6,174	789	386	1,279	12,664	18,953	-		
4	1.17	1.59	5,523	647	381	2,179	8,674	11,439	51.0	-1.6	
5	1.22	1.72	6,608	818	208	1,287	11,908	12,484	-		
6	1.25	1.74	6,260	732	1,009	1,986	10,133	9,331	-		
7	1.24	1.59	6,218	670	336	0	10,752	17,138	50.8	-1.6	
8	1.26	1.73	6,992	866	475	1,300	13,371	12,754	-		
9	1.24	1.71	5,693	613	368	581	5,374	12,680	-		
10	1.25	1.63	5,441	595	239	1,627	11,173	14,616	46.5		
前月比 %	0.01ポイント	-0.08ポイント	-4.4	-2.9	-35.1	180.0	107.9	15.3	-4.3ポイント	-2.4ポイント	
前年同月比%	0.12ポイント	0.07ポイント	-2.0	1.3	-18.0	3.2倍	-18.3	-46.5	-	-	
資料出所	青森労働局				函館税関、青森支署・八戸支署			県統計分析課		青森銀行	

※求人倍率の年次の欄は原数値の年度計数※雇用保険の年次の値は年度計数

青森県の主要経済指標・各種統計 3

☆県内主要都市・地区各種指標

年次及び月	観光施設入 込客数(人)	宿泊者数 (人)	青森空港乗 降客数 (定期便) (人)	パスポート 発行件数 (件)	三市の宿泊者数 (人)			地区 BSI		
					青森市 (12施設)	弘前市 (17施設)	八戸市 (18施設)	青森	津軽	県南
2012(H24)	10,852,850	1,248,715	819,941	18,765	322,945	334,981	496,548	-	-	-
2013(H25)	10,408,710	1,616,712	848,951	14,968	402,275	483,615	505,059	-	-	-
2014(H26)	9,878,186	1,498,169	903,389	13,560	374,463	487,827	505,045	-	-	-
2015(H27)	9,987,354	1,497,981	981,175	13,301	373,938	518,399	462,499	-	-	-
2016(H28)	9,891,582	1,518,642	1,061,995	14,904	378,634	535,657	474,738	-	-	-
2016(H28) 8	1,471,223	171,831	112,073	2,023	44,735	63,837	48,865	} 1.2	} 33.3	} 3.7
9	957,213	137,835	101,989	1,161	35,624	47,723	41,995			
10	969,341	156,238	103,494	1,113	41,564	54,909	45,442			
11	643,604	116,288	89,895	1,085	26,606	41,028	38,926			
12	574,904	104,317	73,795	1,238	24,649	35,342	35,341			
2017(H29) 1	495,775	96,137	69,552	1,438	26,442	31,206	29,804	} -8.0	} -10.8	} -7.4
2	452,980	102,123	68,725	1,124	25,345	36,677	30,724			
3	553,884	111,481	86,184	1,354	25,650	38,804	36,881			
4	901,247	125,243	84,282	1,158	29,065	47,835	38,215	} 4.6	} 4.4	} -5.8
5	1,115,685	139,792	107,049	1,181	33,070	51,590	41,345			
6	863,641	136,611	106,806	1,263	31,857	48,616	42,623	} 0.0	} -8.5	} 2.4
7	933,702	140,006	102,081	1,353	32,639	48,018	44,068			
8	1,539,954	175,190	119,154	1,705	44,710	63,656	51,372			
9	939,294	148,289	104,595	1,213	35,661	52,723	45,181	} 0.0	} -8.5	} 2.4
10	931,957	155,819	108,336	1,217	40,730	55,016	45,441			
前月(期)比%	-0.8	5.1	3.6	0.3	14.2	4.3	0.6	-4.6ホ <sup>+</sup> イント	-12.9ホ <sup>+</sup> イント	8.2ホ <sup>+</sup> イント
前年同月(期)比%	-3.9	-0.3	4.7	9.3	-2.0	0.2	-0.0	-	-	-
資料出所	県観光企画課		空港管理事務所	県統計分析課	県観光企画課			青森銀行		

※観光施設入込客数は県内34施設合計、宿泊者数は青森市、弘前市、八戸市、むつ市53施設(2016.7以降)合計

年次及び月	推計人口 (人)			新車(登録車)販売台数(台) (大型特殊車除く)			新設住宅着工戸数 (戸)		
	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市	青森市	弘前市	八戸市
2012(H24)	297,618	182,487	236,434	8,346	3,917	7,221	1,260	868	1,440
2013(H25)	295,145	181,057	235,585	7,740	3,612	6,467	1,665	822	1,457
2014(H26)	292,769	179,582	233,951	7,669	3,704	6,564	1,445	761	1,197
2015(H27)	290,251	178,098	232,634	7,424	3,598	6,101	1,378	871	1,395
2016(H28)	287,160	177,383	231,098	7,829	3,578	6,411	1,761	1,084	1,463
2016(H28) 9	284,936	176,025	229,661	693	340	621	157	85	159
10	284,754	175,900	229,527	571	313	565	275	100	109
11	284,649	175,942	229,466	561	321	580	146	109	133
12	284,441	175,843	229,361	626	260	400	148	112	119
2017(H29) 1	284,257	175,777	229,287	526	266	483	59	53	110
2	283,948	175,672	229,190	607	311	512	74	20	78
3	283,671	175,440	229,131	1,217	635	855	105	84	132
4	281,920	174,190	228,168	691	341	692	184	88	138
5	282,743	174,701	228,100	562	286	470	173	78	112
6	282,704	174,630	228,021	737	409	618	153	103	147
7	282,519	174,507	227,987	936	366	849	198	126	150
8	282,324	174,366	227,965	494	267	473	122	89	108
9	282,207	174,310	227,796	723	399	635	229	83	146
10	282,032	174,287	227,778	627	263	520	178	135	97
11	282,023	174,228	227,704						
前月(期)比%	-0.0	-0.0	-0.0	-13.3#	-34.1	-18.1	-22.3	62.7	-33.6
前年同月(期)比%	-0.9	-1.0	-0.8	9.8#	-16.0	-8.0	-35.3	35.0	-11.0
資料出所	県統計分析課			自販協連合会青森県支部			県建築住宅課		